



受大総第786号  
令和元年6月24日

大山町議会議長 杉谷洋一様

大山町長 竹口大紀



### 議員と語る会の町民要望について（回答）

令和元年6月7日付け発大議154号で報告のありました、平成31年4月に開催された「議員と語る会」で、町民から行政に寄せられた意見・要望等について、下記のとおり回答いたします。

#### 記

#### 1. JR大山口駅が無人駅では寂しい。

##### ① 観光も含め、案内所設置を望む

（回答）

大山口駅については、既に住民説明会等でもご説明を差し上げておりますとおり、必要最低限の駅機能で整備することとしておりますので、現時点での設置は行うことは考えておりません。

##### ② 大山を訪れる人が、俳句や詩等を投書できる箱の設置を望む

自家用車以外で来られる観光客の多くは、米子鬼太郎空港、またはJR米子駅を起点にし、そこからループバス、貸し切りバスまたはレンタカーを利用して大山にアクセスしている現状が多いことから、投書箱を設置するとしても、大山参道に設置する方向で検討してまいります。

#### 2. 少子化が問題である。子どもがいない（少ない）地域は廃れる。町外へ転出しない対策も必要ではないか。

（回答）

本町においても、若者世代の町外転出が少子化問題の一因であると認識しています。

そこで、若者が町内で暮らしやすくするための施策として、各種子育て支援策や住宅助成金事業等を推進し、起業支援にも取り組み始めたところです。

また若者が町内に留まる、あるいは進学・就職等により、一旦町外へ転出

しても再び大山町へ戻ってきたいと思う条件の一つには、郷土への愛着があると考えています。

このため町では、中学生を中心に、子どもがやってみたいことを実現させる過程で郷土愛を育む「こどもと楽しいプロジェクト」に取り組んでいます。大山町を誇りに思い、戻ってくるための素地を作っていくことが重要と考え、今後も事業の推進に努めてまいります。

### 3. ジビエ工房について、維持管理も含め採算の見通しは。

(回答)

現在、指定管理により大山ジビエ振興会が維持管理を含めた運営を行っております。(指定管理料は0円です。)

採算の目途につきましては、計画上ではとれる予定となっております。

### 4. 高齢化が進み、買い物難民が増加の一方である。買い物がしやすいお店作り、仕組みづくりを望む。

(回答)

町内では、商店・小売店の無い集落が多く、生活必需品を購入するために車両等での移動が必要な住民が多いということは認識しております。

また、免許証の返納等により自家用車での買い物が難しくなる方もありますが、そうした対策として、デマンドバスの運行やタクシー利用助成を行っており、生活必需品の買い物等を町内で行っていただける仕組みは整えているものと考えております。

住民の皆さんが使いやすい交通手段としましては、モデル事業として互助交通に取り組まれている地域自主組織の取り組みを参考にして、さらに検討を進めてまいります。

### 5. 行政との意見交換がしたい。一度、役場幹部との話し合いがしてみたい。

(回答)

町長座談会を実施する際には、必要に応じて管理職が同行しておりますのでご参加ください。

### 6. 町バス、社協バスの使い勝手が悪くなった。

(回答)

町バス、社協バスの使用目的、人数制限は以前と変わっておりませんが、社協の台数を1台に減らし、社協バス1台、町バス1台にいたしましたので、ご不便をおかけしておりますが、ご理解いただきますようお願いいたします。

7. 大山チャンネルの映像等を youtube で見れるように共有できないか

(回答)

発信するには著作権等権利関係、体制整備や中海テレビ加入者との不公平感等の問題があるため、youtube への発信は考えておりません。

8. 窓口でタライ回しにされた。職員が機構改革を理解できているか、また、町長は、職員に丁寧に説明しているか。

(回答)

職員には組織機構について、説明しておりますが、今後は、たらいまわしなどが無いよう指導を徹底していきます。申し訳ございませんでした。

9. 大山口南団地への進入路工事の際、住民への説明がなく、班長のみであった。説明は詳しく丁寧に行ってもらいたい。

(回答)

今回の工事は軽微な局部改良工事で、工期が1週間程度で特に交通規制も無く、区長さんと相談のうえ班長さんと工事内容等について協議をしながら、工事を進めておりましたが、説明が不足していたことについてはお詫び申し上げます。

今後は、文書による周知を行うなど、集落の意向も確認しながら、工事を進めてまいりたいと考えております。

10. 大山農具市で、人員が不足する交通指導員2名の補充をお願いしたが、企画課から「自治会で対応してもらいたい。できないなら市はやめて欲しい。」といわれた。

また、天気状況から音響機器は早めに撤去され、ステージ出演者は出演ができなかった。農具市を続けられるよう支援をお願いしたいし、機器を扱える人材も育成してもらいたい。

(回答)

交通安全指導員の役割は交通安全の啓発であり、交通誘導や警備業務ではありません。

大山口農具市は、歴史のあるイベントとして、町としても大切に思っております。農具市を今後も継続するため、この課題をどう解決すべきか検討中です。

音響の在り方につきましては、現在の機器が故障し、修理が不可能な場合は更新を考えておらず、悪天候による撤去はやむを得なかったものと考えております。また機材の操作につきましては、外部の専門家に任せておりますので、ご理解を賜りますようお願い申し上げます。